

外交アネクドット 第6回

「アネクドット anecdote」とは、奇聞・逸事を意味します。この連載では外交にまつわる海外の小話を紹介します。



高濱 賛
在米ジャーナリスト

胡主席からのプレゼントって なんだと思う？ 海賊版DVDだってさ

Jay Leno: "The White House held a big state dinner for Chinese President Hu Jintao. And as is the custom with the Chinese people, they brought President Obama a gift - some bootleg DVDs of 'The Green Hornet' and 'Little Fockers.'"

「胡錦濤国家主席のためにホワイトハウスで大晩餐会ばんさんが開かれたようだね。胡主席は中国人の慣習に則って、オバマ大統領にお土産を持ってきた。何だと思う。新作の『グリーン・ホーネット』と『リトル・フォックス』の海賊版DVDだってさ」(ジェイ・レノ氏の政治風刺漫談「NBCテレビ「ザ・トゥナイト・ショー」より）

1月19日の米中会談をどう評価するかは意見が分かれるが、ノンポリのアメリカ庶民の感想を聞けば、「あの人が『メード・イン・チャイナ』を作っているボスカ」といったところだ。アメリカが使っているものは、多くが「メード・イン・チャイナ」。アメリカ人の日常生活は、「中国なし」には成り立たなくなっている。いまひとつ、「中国」と言えば、す

ぐ頭に浮かぶのが、中国製海賊版DVDだ。封切りされたばかりのハリウッド映画の海賊版DVDが中国のオンラインで売りに出されている。

「中国人には『モノを盗むのは悪い』という考え方はあっても、『他人が考えたのと同じものを盗んでどこが悪い』という認識もある」(中国通のD・カイザー元国務次官補代理)。

とはいえ、GDP世界第2位の大國にしては、ちょっとお行儀が悪い。

首脳会談後の記者会見で記者たちから人権問題についてしつこく聞かれた胡主席は、「中国国内には(人権問題よりも)なすべきことがまだ沢山ある」と答えた。従来の「人権批判は内政干渉」という発言とは大違いだ。さて、知的財産権について聞かれたら、何とのたまうのだろうか。(たかはまたと)